

令和3年度教育研究部事業計画

1 運営の基本方針

- (1) 学校の自主性・自律性の発揮を支援し特色ある学校づくりのための上越カリキュラム及びスクールマネジメントに関する研修を推進する。
- (2) 「全ての子どもが分かる楽しさを実感する授業づくり」を視点に置きながら、「主体的・対話的で深い学び」を目指し、「ICTを活用した授業づくり」を含め、実践的な研修を一層充実させる。
- (3) 学習指導要領の趣旨や市学校教育の重点内容を日々の教育活動に生かせる研修を企画する。
- (4) 上越教育大学等との連携を強化し、研修講座の充実を図る。

2 事業内容

(1) 上越カリキュラム研究の推進と実践化

(2) 教職員研修

- ① スクールリーダー、ミドルリーダーの育成、充実を図る学校力向上研修
- ② 教師としての専門性や指導力等を育成する授業力向上研修
- ③ 喫緊の課題に対応できる資質・能力を育成する重点的課題研修
- ④ 職種や各種教育課題への対応能力を養う職種・課題別研修

3 具体的な方策

(1) 上越カリキュラムの推進、コミュニティスクール及び小中一貫教育の円滑な実施を支援する研修の継続

- ・ GIGA スクール構想によるタブレット端末の導入に伴い、ICTを活用したカリキュラム研究に着手。
- ・ 上越カリキュラム実践モデル校の実践発表会、新指導要領に対応した視覚的カリキュラム表活用研修を継続して実施する（年度初と年度末の計2回）。
- ・ 「スクールマネジメント研修」を全2回実施する。
- ・ 小中一貫教育の動向と推進に関する研修を行う。

(2) 授業研究を中心とした研修の一層の充実

- ・ 学力向上を目指し、中学校の国語、小中学校の算数・数学・理科・英語・外国語の各教科の授業力向上研修を悉皆で行う。
- ・ 各校の自主・自律的な研修の推進のため、NRT分析を始め、具体的なテーマでの研究主任研修会を3回実施する。
- ・ 夢しごと元気塾を継続し、若手教師の力量向上のための個別指導を行う。

(3) GIGA スクール構想によるタブレットの基本と活用を図る研修の実施

- ・ タブレットPC活用力養成研修を7講座開設する（基本操作、日本語指導への活用、小学校プログラミングの指導、初級、中・上級に分けた活用方法紹介など）。

(4) 各種課題や職種に対応した研修の一層の充実

- ・ 「学級づくり研修」では小学校、中学校担任対象に授業参観を基に実践的な研修を行う。
- ・ 特別支援教育で「特別支援教育コーディネーター研修」、情報教育で「情報モラル指導方法研修」「情報セキュリティと教育の情報化研修」、職種・課題別で「食物アレルギー研修」「薬物乱用防止教育研修」「動物飼育研修」「事務職員研修」「事務長・事務主任マネジメント研修」「事務職員（主事）研修」「教育補助員、介護員、学校看護師研修」等を継続して実施する。
- ・ 長期休業中や勤務時間外に希望者を募り「生徒指導自主研修講座」を実施する。

(5) 上越教育大学との連携講座の開催

- ・ 教科としての道徳(特別の教科 道徳)の在り方に関わり、上越教育大学上廣アカデミーと共催で、求められる道徳科の指導法について学ぶ研修を継続して実施する。
- ・ 大学経費による共同開催事業を企画する。
- ・ 水曜セミナー等、大学主催研修について、情報発信を積極的に行う。

令和3年度学校力・授業力向上のための全体図

目的

教育課題・職種・教科等に応じた研修を実施して学校の組織力・教師の指導力の向上を図り、地域に信頼される特色ある学校づくりを支援する。

現状と課題 子どもたちの学力向上が喫緊の課題となり、教職員の資質向上がより求められている。そのため研修の必要性が増し、教育センターの果たす役割が大きくなっている。①中学校国語、小・中の算数・数学、理科、英語など学力向上に向けての指導力向上、②主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善、③特別支援教育の一層の充実、④カリキュラム・マネジメントとしての上越カリキュラムの更なる開発、⑤社会に開かれた教育課程実現に向けたコミュニティ・スクールの円滑な運営や小中一貫教育の推進など研修による支援体制の強化が必要である。

研修目的

スクールリーダー、ミドルリーダーの育成、充実を図る。

教師の専門性や指導力を育成する。

喫緊の課題に対応できる資質・能力を育成する。

職種や各種教育課題への対応能力を養う。

①学校力向上研修

- ・上越カリキュラム実践発表会
- ・視覚的カリキュラム表活用研修
- ・スクールマネジメント研修
- ・小中一貫教育研修

組織力の強化・特色ある学校づくりを支援する。

②授業力向上研修

- ・授業力向上研修
- ・研究主任研修
- ・道徳教育研修
- ・タブレットPC活用力向上研修

教師の専門的力量的形成を支援する

③重点的課題研修

- ・特別支援教育研修
- ・学級づくり研修
- ・学級担任・生徒指導研修
- ・情報教育研修
- ・など

学校が抱える新たな教育課題の解決を支援する。

④職種・課題別研修

- ・防災教育研修・UD研修
- ・動物飼育研修
- ・図書館担当者研修
- ・保健業務研修 事務職員研修
- ・キャリア教育研修
- ・など

分掌に関する研修を実施し、学校管理・運営を支援する。

ピアサポート授業づくり事業

ご気手育個別夢し元(若手育成指導)

目指す成果

- 特色ある学校づくりに向け自立した教職員が協働する学校風土の醸成
- ・教育目標の具現に向け、組織力や教職員を生かすスクールリーダーの養成
 - ・上越カリキュラムによる教職員一人一人のカリキュラム・マネジメントの推進
 - ・学び合い、協働して課題解決に向かう職員関係を築ける教職員意識の高揚
 - ・各種実践の評価・改善を繰り返し、研修を生かし創造的に取り組む教職員の育成

R2年度の成果

- ①全ての学校でランドデザインを描き、全校体制で重点に基づく視覚的カリキュラム表を作成している。コミュニティ・スクールの円滑な実施・運営に向け、職員、地域が連携し、工夫して取り組んでいる。支援の一助として、スクールマネジメント研修、視覚的カリキュラム表活用研修を実施した。
- ②新型コロナウイルス感染防止のため、Zoomでのリモート研修を導入し、授業改善、指導力向上に向けての研修を提供できた。(授業力向上研修、授業のUD化研修、理科授業基礎講座 等)
- ③感染防止対策に努め、学校が抱える教育課題解決のための研修(特別支援教育等)、受講者のニーズに応える研修(学級づくり、生徒指導)、情報教育関係の研修等、今日的な研修を提供できた。
- ④防災教育やキャリア教育、保健業務や学校事務など各種教育や校務分掌を支援する研修が実施できた。

R2年度研修会の実績 (R3.2月末日現在)

- ・受講者数 ①31人、②182人、③247人、④610人 受講者総計 1,070人 (前年比 39.1%)
- ・受講者の満足度 A大変有意義 (56.7%)、B有意義 (39.3%)、C普通 (3.2%)
Dやや有意義でない (0.6%)、E有意義でない (0.1%) 無回答 (0.1%)

課題

- ①「第2次総合教育プラン」や「学校教育実践上の重点」の具現に向け、研修内容の重点化や改善を進める。
- ②ICTの活用含め、学力向上を目指した授業改善を進めるための研修を計画的に実施する必要がある。
- ③受講者が主体的に取り組めるよう受講者のニーズに応じた研修内容や研修方法の工夫・改善を一層進める。